

平成26年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

桃太郎チャレンジキャンプ[®]高学年編

平成26年11月23日(日)～24日(月)

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

小学校高学年の子どもたちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動における困難を克服することをとおして、自ら進んでチャレンジしようとする心情や自尊感情を育む。

2. 事業の概要

(1) 開催日

平成26年11月23日(日)～24日(月)

(2) 募集人員

参加対象 小学校5・6年生

参加者 20名／参加者24名(欠席4名)(応募総数40名)



アイスブレイク

(3) 講師等

ツリーイング指導者3名 ボランティア9名

(4) 企画・運営のポイント

- ・ 中学年編の活動プログラムを発展させて高学年を対象とすることに当たり、困難克服型の体験活動を導入することで、自尊感情を育めることをねらいとした。
- ・ 1班10人で編成し、より多くの仲間と接することをとおして、協力や仲間の大切さに気付き、班に対する帰属意識が芽生えるようにした。
- ・ 困難克服型のプログラムとして、当施設から大平山までの道のり(17km, 高低差350m)を歩く、ロングウォークコースの開発をした。
- ・ クラフトを陶芸体験とし、岡山県を代表する陶芸備前焼にすることで、郷土の伝統工芸に愛着心が持てるようにした。
- ・ 子どもたちが作成した班旗を活用して各活動終了後にふりかえりの場面を設定することで、班の一員としての存在をその都度確認できるようにした。
- ・ ボランティアを対象にした事前研修では、本番を想定した動きの確認や準備、実地踏査を綿密に行うことで、ボランティアのスキルアップと、子どもたちや保護者に安心して参加してもらえるよう研修を計画をした。
- ・ 8月に2泊3日で実施予定だったが、台風により中止となったことで今回、日数と活動内容を短縮して再度企画をした。

3. 活動の内容等

(1) 日程等

11月23日(日)		11月24日(月)	
9:00	受付	5:30	起床, 洗面
9:30	開会式	6:00	大平山散策
10:00	アイスブレイク	8:00	朝食
12:00	昼食	9:30	木登り(ツリーイング)
13:00	カッター	12:00	昼食
16:30	野外炊事(夕食)	13:15	クラフト(備前焼)
19:45	入浴	15:00	まとめ
20:30	キャンドルのつどい	15:30	閉会式
21:00	就寝準備		
21:30	就寝		

(2) 活動の状況



アドベンチャーカッター



カッター(野外炊事の食材探し)



野外炊事(食事準備)



野外炊事(豚汁と炊き込みごはん)



キャンドルのつどい



キャンドルのつどい



大平山散策（雲海）



大平山散策（ご来光）



ツリーイング（木登り）



木の葉隠れ



クラフト（備前焼）



クラフト（備前焼）



2 日間のまとめ（班旗）



2 日間のまとめ（個人）



閉会式（ボランティアから保護者への報告）



閉会式（修了証授与）

4. 成果・課題

（1）成果

- ・ 班を意識した構成で、班への帰属意識が芽生え、子どもたちはもとより、班としての成長過程を感じとることができた。また、仲間と協力して困難を克服することで、仲間の大切さに気付くことができ、自信を持って活動することができた。
- ・ 台風の影響で、開催日と日数の変更をしたことで、開発したロングウォークプログラムを実施ができなかったが、このプログラムは後に、小学校長期宿泊体験活動において実現された。
- ・ 大平山散策では、子どもたちが普段見ることのない雲海や日の出を目の当たりにすることで、自然の雄大さや畏敬の念を感じることができた。
- ・ 備前焼作りでは、型紙を使用した作り方を導入したことにより、形成に簡単に取り組むことができた。また、郷土の陶芸に取り組むことで、伝統工芸を身近に感じ取ることができた。
- ・ 班旗を可視化して活用することで、自身の目標や活動をふりかえることができた。
- ・ ボランティアを対象とした事前研修や準備を綿密に行ったことにより、本番ではスムーズな運営や対応ができ、子どもたちや保護者からは信頼感を得ることができた。
- ・ 今回、台風による中止決定を判断するに当たり、当施設における事業の中止判断基準を考え直す良い機会となった。

(2) 参加者の声（保護者聞き取りより）

- ・夏休みキャンプが台風で中止になり、残念に思っていたところ、今回新たに企画を立ててくださり、とてもありがたかったです。閉会式のときの息子の満足そうな、少し自信がついたような表情を見て、とても充実した二日間であったのだろうと感じました。
- ・子どもが活動しているときの笑顔がたくさん見られて良かったです。本当にキラキラした笑顔で「成長したなあ」と涙が出そうでした。
- ・我が子もそうですが、皆とても良い笑顔で生き生きしていて嬉しくなりました。とても良かったようです。ぜひまた、たくさん子どもたちにこのような素敵な時間を与えてほしいと思います。
- ・体験内容が子どもにとって、とてもいい内容が多くて良かったです。Facebookで様子が見られて、楽しそうにやっている姿を見て安心できました。
- ・職員、ボランティアの皆様本当に感謝です。世代の違う、また、普段と違う初対面の方々からご指導や助言をいただいたことは、きっと心に残っていく良い経験になったと思います。
- ・ボランティアの皆さん、ありがとうございました。我が子もこんなボランティアができる人になってもらいたいです。
- ・いっぱい子どもから話を聞きました。僕も「ボランティアのお兄さんたちみたいになりたい」って話してくれました。本で学ぶより、私は大切な経験だと思います。ありがとうございました。

(3) 今後の課題など

- ・夏季休業中に実施する企画だが、教育事業や小学校長期宿泊体験活動の増加に伴い、日程を確保することが困難な状況になりつつある。

担当：企画指導専門職 村上 聖一